

# ふくいの食再確認

## 来月11日から「味の週間」

県内の豊かな食を再確認する機会にしてみよう。県は今年から、11月の第2日曜日(11月11日)から第3日曜日(11月18日)の8日間を「ふくい味の週間」に設定する。今年11月11日(日)「学び」「味わい」「楽しむ」をテーマに、小中学生を対象にした「味覚の授業」や飲食店での健康メニューの提供などを展開。17、18の両日は県内の秋の味覚を集めたメニューを展示する。17、18の両日は県内の秋の味覚を集めたメニューを展示する。

「味わい」のテーマでは、飲食店から募集したヘルシーな料理メニュー「ふくい健幸美食」を認定32店舗で提供する。県産品を使い、健康長寿を意識した減塩、低カロリーのメニューと、協賛のスーパーや直売所の計61店で県産の「旬の食材」P R (同11～18日)。

一方、ふくい味の祭典では、調理師養成課程のある啓新、美方高、テント市で越前がにや鮮魚を販売する。

イベント「ふくい味の祭典」を福井市の県産業会館で開く。同週間は越前がにや新そば、里芋といった本県を代表する秋の味覚が出そろう期間に合わせて設定。県産食材や地産地消のPRにとどまらず、食育発祥の地として食を学ぶ観点を取り入

**小中生に授業、健幸美食 県、学ぶ視点で多彩催し**

県内のレストランではシェフ考案の妊産婦向け料理を試食し、栄養や食育について学ぶ講座もある。

売。カニ鍋やフグ鍋、新そば、県産品の炭火焼きが楽しめるコーナーもある。17日は学校給食が食べられるイベントや長さ60センチの巨大水ようかん作りがある。

「来年からはさらに(企画の)レベルを上げ、全国から福井の味を自当に人が集まるようにしたい」と述べた。同週間の問い合わせは県農林水産振興課

0776(20)0421。

### ●「ふくい味の週間」主要イベント●

#### 【学び】

- ・プロの料理人らが県内小中学校の計100クラスで「味覚の授業」(11月12～16日)
- ・県委嘱の「ふくい食アンバサダー」が調理師養成課程のある高校で特別授業(同12、13日)
- ・レストランで妊産婦向けの食事講座(同13～17日)

#### 【味わい】

- ・ヘルシーメニュー「ふくい健幸美食」を認定32店で提供(同11～18日)
- ・協賛のスーパーや直売所の計61店で県産の「旬の食材」P R (同11～18日)

#### 【楽しむ】

- ・県産業会館で「ふくい味の祭典」開催。県内の秋の味覚が楽しめる「ふくい食堂」や「産地直送新鮮市」「学校給食レストラン」など多彩な企画を一堂に行う(同17、18日)